

品川区浸水ハザードマップ

(浸水予想&実績図 分割版C:北西部)

品川区浸水ハザードマップには、浸水予想図・浸水実績図・浸水予想&実績図の3種類があります。

この浸水予想&実績図は、大雨による河川の増水や下水道処理能力を超える流入により、水があふれた場合の城南地区河川流域浸水予想区域図(平成16年5月東京都作成)及び平成元年や11年に品川区で実際に起きた主な浸水実績を基に作成された浸水実績図(東京都作成)を重ね合わせ、浸水した範囲、浸水予想される範囲やその程度、避難所を示し、区民の皆様の避難などに役立つよう作成したものです。

浸水予想図で想定している大雨の規模は、平成12年9月に発生した東海豪雨(総雨量589mm・時間最大雨量114mm)の降雨実績を基にしています。水害の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況によって変わることもあります。したがって、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水があるというものではありませんし、この地図表示以外でも、状況によっては浸水することもありますので、十分に注意してください。

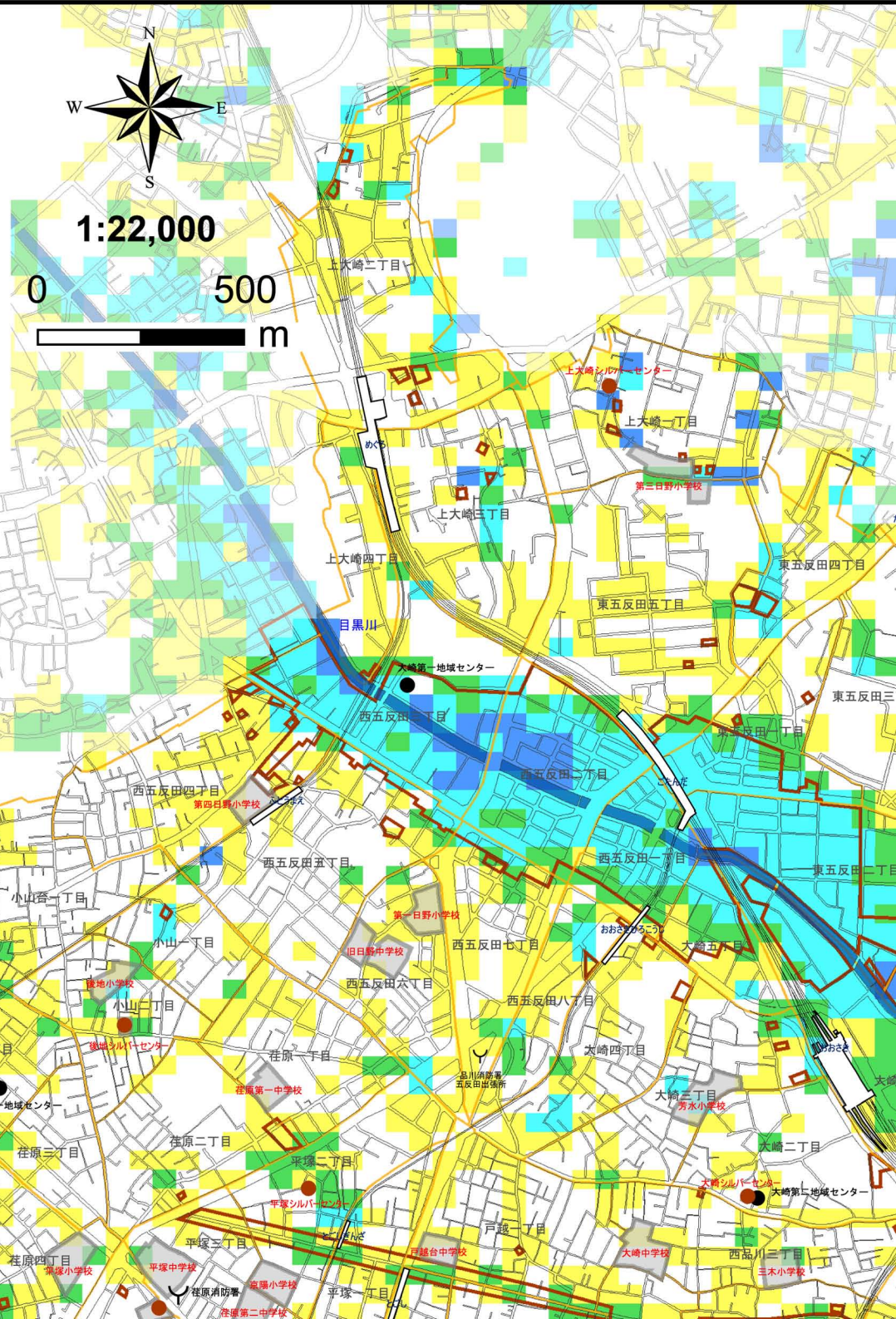
大雨の際には、区から避難勧告や避難指示がでる場合もありますので、各種情報には十分注意を払いましょう。いざというときに備えて、避難所などを確認しておきましょう。

平成18年3月 品川区

図面の見方のポイント

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、青・水色・緑色で示される場所では、地盤が低いために、浸水したときの水深が大きくなるので注意して下さい。

なお、表示は一边が50メートルのメッシュ(区画)単位になっており、水深はメッシュ内において最大の水深となる地点のデータで表示しています。



凡例

- 浸水時の水の深さ
- 0.2 ~ 0.5m
 - 0.5 ~ 1.0m
 - 1.0 ~ 2.0m
 - 2.0m 以上
 - 平成元年や11年など、主な浸水実績

- 避難所
- シルバーセンター
- 地域センター
- 区役所
- 消防署
- 警察署

